

性暴力被害者を孤立させない！

— すぐに駆け込める場を作った —

お話 福岡ともみさん

特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 事務局長。フェミニストカウンセリング・アドヴォケイター（擁護する人）。

1999年、奈良県でDV被害者が加害者となってしまった事件の裁判支援から、被害者女性の支援に関わる。共著：『笑顔を取り戻した女たち マイノリティ女性たちのDV被害—在日外国人・部落・障害』（2007年）など。



性暴力被害にあうと、それまでの日常生活が突然一変するような経験を余儀なくされます。しかし、多くの被害者はどこにも、だれにも相談できていません。

福岡さんたちは、「性暴力被害にあった人へよりよい支援を提供する場」を病院の中に作りました。そして、「誰もが安心して暮らすことのできる、性暴力のない社会を作る」ことをめざしています。

「自分たちが受けたような性暴力被害を、若い人たちが二度と経験しないように」という日本軍「慰安婦」被害者の願いが込められている「平和の少女像」の展示が、「あいちトリエンナーレ 2019」で中止に追い込まれました。このことから、性暴力被害についてまだまだ理解がない社会だということが見えてきます。

福岡さんのお話を聴きながら、性暴力のない社会をどうやって作っていくかを、一緒に考えましょう。どなたでも、ご参加ください。

とき
ところ

2019年 10月5日(土) 14:00-16:30

とよなか男女共同 参画推進センター すてっぴ セミナー室1

参加費

500円(学生300円) (事前申込み不要)

一時保育 事前申込必要、対象/1才～小学3年、費用/一人500円(税別)
9月28日までに、主催団体連絡先までお申込みください。



次回の学習会は、
日本人「慰安婦」のこと
を取りあげます。

■主催■ 「慰安婦」問題の解決を求める北摂ネット
ワーク・豊中 (連絡先: 090-8383-4197)